

新年のご挨拶

-2023年(令和5年)1月4日-

新年明けましておめでとうございます。



九州キリスト教社会福祉事業団いずみの園は本年度2022年度の事業計画として、世界に広まる国連の開発目標 SDGs(エスディージーズ)を取り入れました。SDGs は世界の環境を守り貧困を解消し、すべての人が平和と豊かさを得ることができる社会を目指し、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標11「住み続けられるまちづくりを」と掲げました。私たちは本年度の基本方針として『SDGs「すべての人に健康と福祉を」そして「福祉のまちづくり」を目指して』としました。中津総合ケアセンターいずみの園は高齢者・児童・障がい者の三福祉をはじめ地域公益課では貧困、引きこもり等と地域に隙間のない福祉の向上に貢献してきました。また私は大分県社会福祉法人社会貢献推進協議会会長として、地域で社会福祉法人の存在感を高める活動の推進を図っています。



社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団
理事長
富永 健司

いずみの園本年度重点課題

- ① 新型コロナウイルス感染症対策の強化
専門知識、情報収集、感染予防
- ② 事業継続計画(BCP)策定と経営マネジメント
感染症、自然災害対策、事業継続計画
経営計画と組織運営、経営管理
- ③ 福祉のまちづくり構想
SDGs 目標の研究と対応「人間の尊厳、健康と福祉の推進」
行政、医療、商工会議所、学校、地区役員、警察、消防との多角的連携
地域共生社会、多世代交流、健康寿命の増進、認知症予防、高齢者雇用
全世代型社会保障一年金、医療、介護、子育て、母子・貧困、障害者支援
- ④ 本館建築
地域のセーフティネット、福祉拠点
福祉の生産性、効率化、科学的介護 LIFE、AI、ICT、ロボット

- ⑤ 人材確保、働き方改革の推進
 - 国の介護処遇改善対策
 - WLBの推進、メンタルヘルス
 - 福祉介護のイメージUP、「ミッション」「生き甲斐」「楽しい仕事」
 - 雇用の創出、人材確保、U・Iターン「中津で働きたい」

コロナ禍の猛威は依然と続いています。県内の感染者の累計は23万人を超え、5人に1人が感染者となっています。社会、経済に与えた打撃は大きく医療のひっ迫や観光、運輸、飲食、販売業界は経営の危機に瀕していると言われています。福祉も大きな影響を受けました。コロナ前の2019年度事業収入に対して、前期2021年度の事業収入は8千万円の減収、5%のダウンです。2022年度も厳しい状況が続いていますが、重点課題にしっかりと取り組み、今期残り3か月事業収入の確保、徹底した経費節減に取り組みます。本年度、次年度は40年が経過した特養本館の建築があります。いずみの園の新時代を目指して、職員一致協力してこの難局を乗り越えましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう




6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう

